

持続可能な地域を育むには？

5人のキーパーソンと学びあう！

デザイン思考から考える ESD と環境教育

持続可能な地域づくりを担う人材の育成と ESD を推進するため、
デザイン思考をベースに探究学習を実践する青翔開智中学校・高等学校にて、
これからの普及啓発・環境教育において求められるチカラや手法について
学びあうフォーラムを、鳥取県地球温暖化防止活動推進センターと共催しました！

開催概要

日時：2019年2月23日（土）13:30-16:30
場所：青翔開智中学校・高等学校
（鳥取県鳥取市国府町）
参加者：32名（NPO2、行政10、企業1、一般19）

セッション1 校内ツアー & 取組紹介



● 織田澤 博樹 副校長 / 青翔開智中学校・高等学校

鳥取で育ったことを、武器にできる人材を育てる

「図書館の中にある学校」の考えのもと、中央に設計された BOOK BASE と、張り巡らされた Wi-fi で
すぐにインターネットが使えるという、どこにいても情報につながる環境に、生徒の好奇心と創造
力を増幅させていく仕組みを実感。掲示されている生徒さんの論文に、参加者は「これは高校生が書
く文なのか！」と目が釘付け！取組紹介では、青翔開智の教育方針「創造力をスパークさせ、鳥取そ
して世界の課題を解決できる人材を育てる」や、探究基礎の教育課程についてお話しされました。

セッション2 ゲストトーク



● 中前 雄一郎 さん / サケの飼育放流プロジェクト

絶対に押しつけはしない。まず相手を認めること！

鳥取県内で数多くのプロジェクトを実施し、自ら課題解決に取り組む中前さん。笑いが満ちたお話で、
会場内もグッと温かい密度の濃い雰囲気になり、どうやって活動の仲間を作っていくか？という点に
関心が寄せられました。「自分もメンバーも楽しむ」「対立する状況でも、お互いに理解し合えるよう
調整し、落としどころを探る」等々、参加者のお悩み解決のヒントが、たくさん浮き上がってきました。



● 山本 秀樹 さん / 元ミネルバ大学日本連絡事務所

アイデアの基：今やっていることをどう減らすか？

国際的な教育の動向に詳しい山本さんからは、「なぜ今、課題解決型学習が必要なのか？」という視点
から、今から必要とされる“人間”が行う仕事をする能力を培うため、という明確なビジョンが共有された
後、実際の世界の教育現場が紹介されました。「何か新しいことをする時は、『捨てる→減らす→増やす
→加える』のプロセスが必要」というお話は、教育現場のみならず、どの組織にも共通する発見です！

● 高橋 敬子 さん / 立教大学社会学部教育・研究コーディネーター
立教大学ESD研究所

ポイントは、ポジティブ&自己効力感

ミステリーという教育手法を用いて、気候変動教育プログラムをドイツのESD実践者の方と開発されてい
る高橋さんからは、学び手に見つけてほしいチカラや、学んだことを行動に移すプログラム作成のポイント
について、濃縮したレクチャーがされました。「ネガティブではなく、ポジティブな言葉・内容へ」「自己効
力感を感じられる行動への参加」などは、誰にとっても普段の取組に取り入れやすい点です。

セッション3 ワークショップ

参加者が 1 番興味のある & お悩み相談をしたいキー
パーソンの元に集まり、グループで意見交換や相談
をしました。
ぜんぜん時間が足りません！！



ま と め

参加者からは、「自ら課題を捉え解決する力を育む教育の生の話を伺うことができ、有意義だった」「共通点は、探究による
問題解決と創造力」等々とコメントをいただき、持ち帰って実践するエッセンスを学んでいただけたようです。また、フォー
ラム終了後もゲストや参加者が話し込んでいたことから、交流の機会の需要が高いことも伺えました。
一方で、「知らない事の多さにびっくりしたが、知る必要があるのかどうかも考えさせられた」という
感想もあり、学びを自分ごとにするイメージが難しい参加者の様子も伺え、運営側に企画の工夫が必
要なことが今後の課題となりました（『新たな問い』ができたのは、探究学習的には大成功！）。
ゲストや参加者の皆様のおかげで、笑顔の絶えない明るいイベントとなりました。
2019 年は、山口県で ESD 学びあいフォーラムを開催する予定です！

共催
お問合せ

環境省中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく) ・中国地方ESD活動支援センター
TEL: 082-511-0720 Eメール: info@epo-cg.jp
住所: 730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階